



沖縄国際大学 FD通信

発行者： 沖縄国際大学 教務部長 (2011年12月7日)

「カリキュラム編成」に影響を与えているものは何か？

—Q-Links主催の第2回CDプロジェクト参加記—

「CDプロジェクト」の「CD」とは、「Curriculum Development」の略称で、教育活動におけるカリキュラムの意義や関連する政策動向などの知見を学ぶことに加え、カリキュラムマネジメントにおける実践的な課題について、Q-Linksメンバーシップによって解決のアイデアを創出していくことを目指しています。(Q-Links HP より抜粋)

今回のプロジェクトは、チーム学習方式による1泊2日の合宿型プログラムで行われました。プログラムは、年に一度世界中の研究者や実践家が集い合う合宿である「バラトン合宿」をイメージして展開され、マンダラートやファシリテーション・グラフィック(以下、FG)の手法を用いて、新たなアイデアの創造への試みが行われました。

プロジェクト参加者は、4つのグループに分かれ、今回のテーマである「カリキュラム編成に影響を与えているものは何か？」をテーマにダイアログを行いました。

本学からは、藤波潔(総合文化学部)、前堂志乃(総合文化学部)、中山かつら(教学課)の3名が参加しました。

それぞれのSTEPで行われた内容は、次のとおりです。(Q-Links HP より抜粋)

STEP1：知る

第1回CDプロジェクトにおいて何が起き、参加者は何を得たのか、参加者のストーリー(体験)を元に、相互にアイデアを広げていくことで、共通の基盤を創っていきます。

STEP2：探る

ストーリーセッションを受けて、今の自分の大学や状況に当てはめるときに何が見えるのか、それがどのような意味があるのか、カリキュラム開発の本質的な課題をチームメンバーと深めていきます。

STEP3：創る

自分が直面しているカリキュラム開発の課題をチームメンバーと共有し、相互のやり取りの中で、多面的なアプローチを検討し、「明日への一手」を明確にしていきます。

最後に、二日間を振り返り、参加者がそのとき溢れ出した言葉を語った後、それらの言葉はFGを用いて描きとめられました。<http://www.qlinks.kyushu-u.ac.jp/blog/?p=5530>

なお、参加した前堂先生はQ-Linksのブログに参加記を掲載されていますので、みなさんご参照下さい。<http://www.qlinks.kyushu-u.ac.jp/blog/?p=6173>

【参加記】Q-Lab 第2回CDプロジェクトに参加して(中山かつら・教学課)

Q-Linksの研修は、多彩なプログラム・チーム活動・課題の本質発見がメインテーマでした。「ダイアログ」の手法を中心に、「マンダラート」、「FG」等から、プログラム間、教職員間、大学間、そして人と人の「つながり」の大切さに改めて気づかされました。

でも、私が密かに注目していたのは、研修会の運営術です。綿密な計画、丹念に考えられた机の配置、素早いスタッフの動き、さりげない癒し系小物の数々……。TA・SAの研修会を主催する側として、学ぶべき知識が満載なのです。初対面のメンバーを和ませる技とか、さりげない気配りに講師の話術、スタッフのフォロー体制の周到さなど、感じるところが多々ありました。

主題の「カリキュラム」についてもですが、「研修会」そのものにも大きな学びを得た二日間でした。それが通常業務やみなさまの研修会等に活かされるよう頑張っていきたいです。



現在、第3回CDプロジェクトに本学から2名参加中です♪

